

## 資料 2. 石川県成長戦略(仮称)骨子案

1. 策定にあたっての基本的な考え方
2. 骨子案の体系
3. 各戦略の概要

# 1. 策定にあたっての基本的な考え方

## 背景

石川県では、長期構想に基づき「個性・交流・安心のふるさとづくり」を着実に進め、個性、魅力、基盤を磨き上げてきたが、長期構想の策定以降、DXやGXといった社会に大きな影響を与える新たな時代の潮流が生まれている

### <石川の強みである個性、魅力、基盤>

#### 【産業】

規模は小さくとも特定分野で世界に誇る企業

#### 【農林】

「百万石の極み」などの特色ある農林水産物

#### 【文化】

歴史と伝統に育まれた質の高い文化資源

#### 【観光】

文化・自然などの豊富で魅力ある観光資源

#### 【交流基盤】

北陸新幹線や、小松・のと里山空港、南北に長い県土を結び、隣県とつながる道路ネットワーク

#### 【教育】

全国トップクラスの教育水準、地域に根ざしたふるさと教育、高等教育機関の集積

#### 【生活】

待機児童ゼロなどの働きながら子育てしやすい環境

#### 【環境】

「能登の里山里海」、「霊峰白山」などの豊かな自然環境

### <新たな時代の潮流>

#### DXの推進

新型コロナウイルス感染症を背景に、社会のデジタル化が急速に進み、これまでの働き方に変化を与えるとともに、人々の生活様式や価値観が多様化

#### GXの推進

- ・カーボンニュートラル実現に向けた取組の推進
- ・脱炭素化を経済成長の制約やコストとする時代から成長の機会と捉える時代へ突入

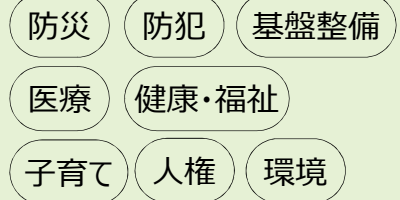
## 方向性

石川の個性、魅力、基盤を継承し、さらに発展させるとともに、新たな時代の潮流に的確に対応し、**住みやすく、働きやすい、活力あふれる、幸福度日本一の石川県**を目指す

## 幸福度日本一の石川県

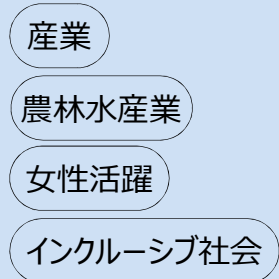
### <住みやすい石川県>

- ・激甚化・頻発化する自然災害から**県民の生命・財産が守られ、安心して子育てができ、生きがいを感じながら、健康に長生き**できる社会
- ・石川の豊かな**自然と人との共生**が図られ、未来へとつながる**持続可能な社会**



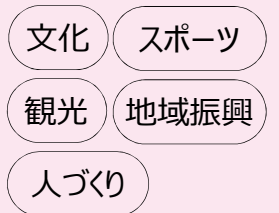
### <働きやすい石川県>

- ・新型コロナウイルス感染症や、デジタル技術の進展などによりビジネス環境や県民の生活様式・価値観が変化中、**所得だけでなく、多様な価値観が尊重**される社会
- ・女性や高齢者、障害者など、**誰もが働きやすい社会**



### <活力あふれる石川県>

- ・文化、観光資源など個性、魅力、基盤を継承しつつ、時代の潮流を捉えて**新たな価値の創造に挑戦**でき、それらを活かし、**国内外や地域間で活発な交流**が図られる社会
- ・DXやGXなど**新たな時代の潮流にも柔軟に対応できる人材が育成**され、積極的に挑戦できる社会



## 目指す姿を実現するための視点と戦略

### <視点>

石川県がさらなる飛躍を遂げ、幸福度日本一を実現するため、

- ・あらゆる分野において、時代の潮流を捉え、積極果敢に挑戦していくことで、個性・魅力・基盤をさらなる高みへと押し上げ、**石川の新たな価値を創り出していくことが重要(視点1)**
- ・そのために、土台となる**県民の安全・安心が守られ、健やかに暮らせる社会をつくり上げていく必要(視点2)**

#### 視点1

**石川の新たな価値の創造**

#### 視点2

**県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築**

### <戦略>

上記の2つの視点に基づき、県政の諸課題に果敢に取り組むための6つの戦略と、新たな時代の潮流を的確に捉え、飛躍するための2つの横断的な戦略を設ける

#### 戦略

- 1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり** (産業づくり部会)
- 2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり** (持続可能部会)
- 3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり** (個性豊か部会)
- 4 石川の未来を切り拓く人づくり** (温もり部会)
- 5 温もりのある社会づくり** (温もり部会)
- 6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり** (安全・安心部会)  
(持続可能部会)

#### 横断的戦略

- 1 デジタル化の推進**
- 2 カーボンニュートラルの推進**

## 2. 骨子案の体系

基本  
目標

『幸福度日本一に向けた石川の未来の創造』  
～住みやすく、働きやすい、活力あふれる石川の実現～

視 点

1 石川の新たな価値の創造

2 県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

戦 略

1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

4 石川の未来を切り拓く人づくり

2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

5 温もりのある社会づくり

3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

横断的  
戦略

1 デジタル化の推進

2 カーボンニュートラルの推進

戦略を実行するための前提・仕組み

- ・KPIの設定 (進捗管理、施策の評価)
- ・オール石川での推進体制 (市町や民間など多様な主体との連携)
- ・効率的・効果的な行財政運営

計画期間

**10年** (R5～R14年度)

※策定から5年後を目途に中間  
評価を行い、必要に応じて見直す

### 3.各戦略の概要

#### 《戦略》

#### 1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

##### ＜現状・課題＞

コロナ禍を契機にあらゆる産業でデジタル化が前提となるとともに、人々の働き方の変化により地方への関心が高まっている。一方で、人口減少による労働力の減少や国内市場の縮小、不安定なグローバルリスク、カーボンニュートラルへの対応など、企業を取り巻く環境は厳しいものとなっている。

こうした状況を踏まえ、デジタルなどの成長分野における人材育成や学生などの県内就職のさらなる促進のほか、スタートアップなど新事業・新産業の創出支援、県内企業の販路拡大や事業基盤の強化、企業誘致などに産学官金の連携の下、取り組んでいく必要がある。

#### 2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

##### ＜現状・課題＞

深刻な担い手不足、国内市場の縮小などによる農林水産物価格の低迷に加え、燃油や肥料・飼料など資材価格の高騰などにより、農林水産業の経営環境は厳しい状況にある。また、農山漁村では過疎化、高齢化が進行しており、多くの集落においてその機能が低下している。一方、カーボンニュートラルや食料安全保障などの観点から、持続可能な農林水産業の構築が求められている。

こうした状況を踏まえ、今後も需要減少が見込まれる米から園芸等への作付転換の推進に取り組むとともに、環境負荷の軽減に資する環境保全型農業の推進、農林水産業の担い手の確保・育成、農林水産物の高付加価値化、スマート農林水産技術の普及・定着などによる収益力の向上、県産材の利活用の推進、林業・木材産業の体制強化、水産資源の適切な管理、里山里海の振興などに取り組んでいく必要がある。

#### 《施策》

- 1 産業のDX推進
- 2 産業のGX推進
- 3 産業を支える人材の確保・育成
- 4 新事業・新産業の創出
- 5 国内外への販路拡大・魅力発信
- 6 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化
- 7 企業等の戦略的誘致の推進

- 1 農業生産構造の強化
- 2 農林水産物や里山里海資源のブランド化の推進
- 3 持続可能な農業・畜産業の体制づくり
- 4 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化
- 5 持続性のある水産業の実現

## 《戦略》

### 3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

#### 〈現状・課題〉

本県には、藩政期から受け継がれてきた厚みのある文化や里山里海をはじめとする自然など、豊富で魅力ある資源が多くあり、東京オリンピック・パラリンピックや北陸新幹線の県内全線開業、いしかわ百万石文化祭2023など、国内外との交流促進の好機が訪れているほか、コロナ禍で東京一極集中のリスクが改めて認識されるなど、地方への関心が高まっている。

こうした状況を踏まえ、本県の文化のさらなる磨き上げや、質の高い文化資源を活用した文化観光の推進に取り組むとともに、さらなる交流基盤の充実やスポーツ振興、国際交流の推進などを通じた多様な交流が盛んな地域づくりを進めていく必要がある。

### 4 石川の未来を切り拓く人づくり

#### 〈現状・課題〉

少子高齢化の進行、デジタル化など社会情勢が変化する中、持続可能な社会の創り手を育成することが求められている。

こうした状況を踏まえ、本県の未来を切り拓く独創性や主体性を備えた子どもたちを社会全体で育むとともに、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備を進めていくことが重要である。また、高等教育機関の集積を活かし、産学官金連携による高等教育機関の「学び」の充実や地域の魅力向上に取り組んでいく必要がある。

## 《施策》

- 1 個性と厚みのある文化の創造と発展
- 2 スポーツを通じた活力の創造
- 3 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化
- 4 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤のさらなる充実
- 5 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進
- 6 個性豊かな地域づくり
- 7 世界に開かれた国際交流の推進

- 1 次世代を担う人材の育成
- 2 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展
- 3 人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備

## 《戦略》

### 5 温もりのある社会づくり

#### ＜現状・課題＞

人口減少や少子高齢化が進行する中、子育てへの不安や負担感が増大し、介護施設の職員の確保や、地域の医療提供体制に不安がある。また、人権を尊重することの重要性がますます高まっている。

こうした状況を踏まえ、安心して子どもを産み育てることができる環境の充実、県下全域での質の高い医療提供体制の確保や介護人材の確保など医療・福祉のさらなる充実のほか、全ての県民が障害や性別に関係なく支え合い活躍できる社会づくりに取り組んでいく必要がある。

## 《施策》

- 1 安心して子どもを産み育てることができる環境の充実
- 2 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
- 3 全ての県民への必要な医療の提供
- 4 誰もが心豊かに安心して暮らせるインクルーシブな社会づくり
- 5 男女が共に活躍できる社会の実現

### 6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

#### ＜現状・課題＞

近年、地震や集中豪雨などの自然災害が激甚化、頻発化しており、日常生活においても、特殊詐欺などの犯罪や交通事故による子供・高齢者の被害が後を絶たない。また、地球温暖化が進行し、国が2050年カーボンニュートラルを宣言するなど、温暖化対策が待たなしの状況となっている。

こうした状況を踏まえ、災害に対する基盤強化や地域防災力の向上など、防災・減災対策のさらなる充実強化が求められるほか、犯罪対策・交通安全など、県民が安心して暮らせる社会づくりが求められている。また、本県の豊かな環境を将来にわたり保全するため、あらゆる主体の脱炭素化に向けた取組と合わせ、生物多様性の保全に向けたトキ放鳥の実現・定着や、自然公園の保護と利用などに取り組んでいく必要がある。

- 1 災害に負けない強靱な県土づくり
- 2 安心して快適に暮らせる地域づくり
- 3 持続可能な循環型社会づくり
- 4 自然と人が共生できる社会づくり



## 《横断的戦略》

### 1 デジタル化の推進

#### ＜現状・課題＞

新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の生活様式や価値観が多様化するとともに、スマートフォンの普及や、新たなICTやサービスの登場により、身近な生活や産業など様々な分野でデジタル技術の活用が進んでいる。

こうした状況を踏まえ、産業、農業、福祉、教育などあらゆる分野において、従来の組織、仕組みを変革するDXの取組を加速化させ、生産性や収益力の向上を図る必要がある。また、場所や時間等にとらわれず、県民誰もがデジタル化の恩恵を享受し、豊かさを実感できる「誰一人取り残されない」社会の実現を目指し、ハードとソフトの両面でデジタル化を推進する必要がある。

### 2 カーボンニュートラルの推進

#### ＜現状・課題＞

世界各地で記録的な自然災害が頻発するなど、地球温暖化対策が待ったなしの状況となっており、本県では、令和4年9月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言したところである。

こうした状況を踏まえ、県民や事業者などのあらゆる主体による省エネ対策の推進や再生可能エネルギーの導入促進など、地域の特性を踏まえた取組を加速化させるとともに、温室効果ガスの排出量削減と合わせ、技術開発を進めるなど産業競争力を向上させる必要がある。

## 《施策》

- (1) 社会全体のDXの推進
- (2) 行政のDXの推進
- (3) DXに向けた環境整備

- (1) 2050年カーボンニュートラルの実現
- (2) エネルギー構造の転換への対応

# 戦略1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

「成長戦略ファンド」の創設(700億円、次世代ファンド+チャレンジ支援ファンド)

## 施策1 産業のDX推進(人材・資金・技術や知財面での総合的支援)

- 企業の取組段階等に応じた総合的な人材育成支援
  - ・DXに向けた高度専門人材育成支援
  - ・リスクリングの推進に向けた県内大学との連携 など
- 工業試験場における技術支援
  - ・デジタルものづくり拠点の整備
  - (シミュレーション技術の活用支援、デジタルツインの研究) など
- 研究開発、設備導入に係る資金や知財面の支援
  - ・デジタル技術を用いた新製品の研究開発
  - ・設備導入支援
  - ・知的財産の戦略的活用 など

〈R5当初予算〉

- ・スマートエスイーの拡充(CDO育成講座、ローコード講座)(拡充)
- ・リスクリングの推進に向けた県内大学との連携(新規)
- ・工業試験場における技術支援(シミュレーション技術の活用支援、デジタルツインの研究)(新規)
- ・DX設備の導入支援(連携枠の創設、導入に向けた可能性調査)(拡充)
- ・知財戦略の策定(新規) など

## 施策2 産業のGX推進(新たな成長機会の獲得から裾野の拡大までの総合的支援)

- グリーン分野の成長市場の獲得
  - ・炭素繊維分野における革新的な研究開発の推進
  - ・グリーンイノベーション創出に向けた研究開発支援 など
- カーボンニュートラルと生産性向上・競争力強化の両立
  - ・GXに向けた省エネ・再エネ設備導入支援
  - ・産業分野ごとの課題に応じたセミナーの開催 など
- カーボンニュートラルに取り組む事業者の裾野の拡大
  - ・GXに向けた意識啓発(経営者向けセミナーなど)
  - ・アドバイザーの育成支援
  - ・水素エネルギーの普及啓発 など

〈R5当初予算〉

- ・産学官連携による炭素繊維分野における革新的な研究開発の推進(金沢工大など)(新規)
- ・成長戦略ファンド創設による先進的な取組や研究開発への支援(新規)
- ・GX設備の導入支援(拡充)
- ・「ゼロカーボンドライブプロジェクト」による水素エネルギーの普及啓発(新規) など

## 施策3 産業を支える人材の確保・育成

- 学生の県内就職促進
  - ・学生の就職活動段階に応じた支援 など
- UIターン人材の確保
  - ・ILACによるマッチング支援強化
  - ・首都圏などからUIターンによるプロ人材の獲得の支援 など
- 副業等人材の活用
  - ・県内企業と都市部の副業等人材とのマッチング支援 など
- 女性・高齢者の活躍促進
  - ・女性の再就職支援と雇用のミスマッチの解消
  - ・高齢者の再就職支援 など
- 外国人材の確保・定着
  - ・外国人留学生の県内就職の促進
  - ・外国人材などの受け入れ体制整備支援 など

- 企業ニーズに対応する産業人材の育成
  - ・デジタル人材育成などリスクリングの推進 など

〈R5当初予算〉

- ・新たな奨学金返還助成制度の創設(理系大学院⇒理系大学・高専へ拡大、基幹4業種⇒全ての企業)(新規)
- ・大学生の県内就職意識の醸成(1・2年生向けプレ・インターンの実施、県外学生のインターンシップ交通費の助成、女子学生向け合同企業説明会の開催)(新規)
- ・県内高等教育機関に在籍する学生の県内定着促進(高等教育機関との学生県内定着推進協定の締結など)(新規)
- ・都市部からの副業等人材の活用(新規)
- ・外国人労働者の確保・定着支援(新規)
- ・県内大学でのリスクリング講座の開講(新規)(再掲)
- ・女性の多様な働き方への支援(新規)
- ・産業技術専門校(金沢・七尾・能登の3校)の在り方の検討 など

## 施策4 新事業・新産業の創出

- 地域の強みを活かした新たな技術・製品・サービスの開発の促進
  - ・優れた技術力をもつ企業や高等教育機関の集積、豊富な地域資源などを活かした新製品の開発支援 など
- 研究開発機関との連携による新たな事業・産業の創出
  - ・国関係機関と連携した新技術開発による新産業創出
  - ・県工業試験場にデジタルものづくり拠点整備(再掲) など
- 成長の新たな原動力となるスタートアップの創出・育成
  - ・スタートアップの掘り起こし、成長段階に応じた支援の強化 など
- コンテンツ産業に携わる人材・企業の誘致・振興
  - ・コンテンツ産業の集積に向けた人材・企業の誘致 など

〈R5当初予算〉

- ・成長戦略ファンドの創設(次世代ファンド・チャレンジファンドの統合・リニューアル)(新規)
- ・産学官金連携のコンソーシアムによる案件発掘・フォローアップ(新規)
- ・成長促進高度アドバイザーの派遣(新規)
- ・スタートアップの創出・育成(拡充)
- ・クリエイティブ人材の移住促進(新規)
- ・IT・コンテンツ関連企業のサテライトオフィス誘致推進(新規)
- ・アニメコンテンツを活用した販促の創出(新規) など

## 施策5 国内外への販路拡大・魅力発信

- 県産品の魅力・価値の効果的な発信
  - ・アンテナショップによる効果的な発信 など
- 国内外への事業展開の促進とニッチトップ企業の拡大
  - ・新たな顧客獲得に向けた販路開拓の支援
  - ・国内外でニッチトップを目指す企業に対する支援など

- 西部緑地公園の再整備（産業展示館の建替）
  - ・産業展示館の建替えにより展示機能を強化

〈R5当初予算〉

- ・首都圏アンテナショップの移転・機能強化(新規)
- ・海外アンテナショップの機能強化(通年化など)(拡充)
- ・食品・農林水産物の輸出強化(専門家を招へいした勉強会など)(新規)
- ・JETROと連携した海外ECサイトの活用促進(新規) など

## 施策6 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化

- 経営課題の高度化・複雑化に対応するための伴走支援の強化
  - ・中小企業庁等との連携による支援機関職員の資質向上・体制強化
  - ・経営支援システムの構築 など
- 円滑な事業承継の推進
  - ・事業承継支援の強化(相談体制の強化、支援の充実) など
- セーフティネットの充実
  - ・十分な制度融資枠の確保
  - ・経営状況が悪化した中小企業の再生支援
  - ・物価高騰など環境変化への対応 など

- 賃上げを行う企業への支援環境の整備
  - ・県内中小企業の賃金引上げへの対応の後押し など

〈R5当初予算〉

- ・伴走支援に積極的に取り組む商工会・商工会議所への経営指導員の加配(新規)
- ・効率的・効果的な経営支援が可能となるシステムの構築(新規)
- ・事業承継支援の強化(個別相談会、企業価値算定等への支援)(新規)
- ・電気料金をはじめとした物価高騰対策(省エネ設備導入支援・融資、パートナーシップ構築宣言や賃上げを行う企業に対するインセンティブの付与、ゼロゼロ融資返済本格化・物価高騰に対応した特別融資など)(拡充) など

## 施策7 企業等の戦略的誘致の推進

- 企業等の戦略的誘致の推進
  - ・本県の優れた立地環境などを活かした企業誘致
  - ・本社機能・サテライトオフィスの誘致
  - ・データセンターの誘致 など

〈R5当初予算〉

- ・企業立地補助金の見直し(雇用人数増加要件及び雇用加算の廃止、労働生産性が高い企業等への補助率上乘せ等)(新規)
- ・サテライトオフィスの誘致推進(企業の掘り起こし、県内市町とのマッチング支援)(新規) など

## 戦略2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

### 施策1 農業生産構造の強化

- 水稻から園芸などへの作付転換の推進による農業収益力の向上
  - ・水田における園芸品目への作付推進 など
- 県産米の消費拡大による農家の所得確保
  - ・県内外での県産米の魅力発信
  - ・県産米の消費拡大キャンペーンの実施 など
- 担い手の確保・育成、農業参入の促進
  - ・担い手の確保・育成、里山里海の維持・保全
  - ・能登地域などにおける農業法人等の新規参入の促進 など

- 担い手への農地集積
  - ・農地中間管理機構による農地の出し手農家と受け手農家のマッチング など
- 省力化に向けたスマート農業の展開
  - ・ドローンなどを活用したスマート農業技術の普及・定着 など

〈R5当初予算〉

- ・水田園芸の推進に向けた産地への支援(新規)
- ・県内外で県産米の魅力発信(拡充)
- ・多様な人材確保に向けた、INATO(耕稼塾)による農業高校・県立大学との連携強化や外国人材の活用に向けたセミナーの開催(新規)
- ・スマート農業に関するワンストップ相談窓口の設置、スマート農業技術の普及・定着に向けたマッチング等の伴走支援(新規)
- ・農業経営戦略課、生産振興課の設置(組織改正) など

### 施策2 農林水産物や里山里海資源のブランド化の推進

- 農林水産物のブランド化のさらなる推進
  - ・「百万石の極み」などブランド農林水産物の魅力発信・生産拡大
  - ・農林水産物の輸出拡大 など
- 里山里海資源の付加価値向上
  - ・世界農業遺産「能登の里山里海」の保全・活用
  - ・トキ放鳥を契機とした農林水産物のブランド化推進 など

〈R5当初予算〉

- ・「百万石の極み」を始めとした県産農林水産物の魅力発信と生産拡大(新規)
- ・里山振興ファンドを活用した新商品・サービスの開発支援
- ・トキ放鳥を契機とした米などの農林水産物のブランド化の検討(新規)
- ・ブランド戦略課の設置(組織改正) など

### 施策3 持続可能な農業・畜産の体制づくり

- 環境保全型農業の推進

- ・県全体で環境保全型農業を推進するための生産者や消費者の理解促進
- ・学校給食における特別栽培米の提供、出前講座の実施 など

- 農村集落の営農継続に向けた体制強化

- ・中山間直払制度等の効果的な活用と適切な運用
- ・農作業等の人手不足解消のための農業人材のマッチングの推進 など

- 耕畜連携による県内産の堆肥・飼料の生産・利用拡大

- ・県内で調達可能な堆肥（鶏糞等）・飼料（飼料用米・稲WCS）の生産・利用拡大 など

- 畜産の支援体制強化

- ・鳥インフルエンザ等家畜伝染病の防疫体制の強化
- ・県獣医師の確保 など

〈R5当初予算〉

- ・県全体での環境保全型農業の推進に向けた生産対策と消費対策の実施（新規）
- ・広域的な農業人材のマッチングなどの仕組みづくり（新規）
- ・鶏糞堆肥の利用拡大に向けた環境の整備や安価で安定した流通体制の検討
- ・獣医系大学進学者への就学資金制度の拡充や大学訪問による県主催就職説明会の開催（拡充） など

### 施策4 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化

- 県産材の安定供給体制の構築

- ・高性能林業機械等を活用したスマート林業の推進などによる県産材の供給体制の強化
- ・民有林におけるJ-クレジット制度の普及促進 など

- 林業従事者の確保

- ・高校生等新たな林業従事者の掘り起こしや快適で安全な就業環境の整備による定着率の向上 など

- 県産材の利用促進

- ・住宅や民間施設における県産材の利用促進
- ・公共建築物の木造化の推進 など

〈R5当初予算〉

- ・スマート林業の推進に向けた再造林後の保育作業の機械化検証（新規）
- ・県有林のJ-クレジット発行・販売、民有林向けマニュアルの作成（新規）
- ・高校生などを対象とした林業体験の実施や就業者の技術習得を支援（新規） など

## 施策5 持続性のある水産業の実現

- 収益力向上に向けた水産資源の適切な管理やブランド化による魅力向上
  - ・資源管理の徹底や養殖による水産資源の維持増大
  - ・デジタル技術の活用による漁業の効率化や流通の効率化
  - ・県産水産物のさらなるブランド化と首都圏での販路拡大 など
- 意欲ある人材の確保・育成
  - ・県内外の漁業就業希望者の掘り起こし
  - ・新規就業者のスキルアップ支援 など

〈R5当初予算〉

- ・首都圏でのいしかわの水産物の魅力発信(拡充)
- ・漁業調査指導船(白山丸)の更新
- ・かなざわ総合市場の建替え支援(新規) など

## 戦略3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

### 施策1 個性と厚みのある文化の創造と発展

- 「いしかわ百万石文化祭2023」を契機とした石川の優れた文化の継承と発展
  - ・「いしかわ百万石文化祭2023」の開催
  - ・ポスト国民文化祭に向けた取組
  - ・「いしかわ文化振興条例」による優れた文化の継承とさらなる発展 など
- 文化に親しむ環境づくり
  - ・県民が自主的に多様な文化に触れるなど、県民の文化意識の向上
  - ・あらゆる方々が文化に親しむ機会の促進 など
- 文化遺産の保存・活用
  - ・建造物・史跡・名勝など文化遺産の掘り起しや適切な保存・活用 など

〈R5当初予算〉

- ・「いしかわ百万石文化祭2023」の開催(新規)
  - ・いしかわ百万石文化祭2023開催期間中の大規模な特別展の開催(「宮内庁三の丸尚蔵館名品展(仮称)」(県立美術館、国立工芸館)、「御殿の美展(仮称)」(歴史博物館))と、夜の賑わい創出(文化施設の夜間開館、国立工芸館・県立美術館・歴史博物館を同時投影するデジタル掛軸の実施)(新規)
  - ・ポスト国民文化祭事業の検討(新規)
  - ・「いしかわ・金沢風と緑の楽都音楽祭」の開催(全市町での開催(拡充))
  - ・県立音楽堂での質の高い多彩な公演を通じた音楽文化の魅力発信(拡充)
  - ・東京藝術大学と連携した文化・芸術による地域活性化(新規)
  - ・県立図書館における文化・交流の機会の提供
  - ・茶道、華道等石川の伝統文化に関する調査の実施(新規)
  - ・富山県、静岡県と連携した日本三霊山の魅力発信(新規)
  - ・文化遺産活用推進室の設置(組織改正)
  - ・妙成寺の国宝化に向けた気運醸成(新規)
  - ・知事公舎の利活用の検討(新規)
- など

### 施策2 スポーツを通じた活力の創造

- 生涯にわたるスポーツ活動の振興
  - ・若年層から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進
  - ・女性や障害者のスポーツ活動の振興 など
- 競技スポーツの振興
  - ・ジュニア選手やより高いレベルの選手の育成と強化
  - ・パラアスリートの競技力向上 など
- スポーツを通じた地域活性化
  - ・アーバンスポーツの振興によるスポーツの裾野拡大
  - ・県内トップスポーツチームなどとの連携 など
- オリンピック・パラリンピック大会レガシーの継承と発展
  - ・オリンピック教室の開催などのオリンピック・ムーブメントの推進
  - ・ホストタウン国との交流など大会レガシー活用の取組 など

#### ● 西部緑地公園の再整備(県立野球場の建替)

- ・県立野球場の建て替えなどスポーツ施設の整備と充実

〈R5当初予算〉

- ・スポーツ施設のリニューアル整備(スポセントレーニング機器整備など)
  - ・「いしかわスポーツ医科学センター(仮称)」の設置(スポセン)(新規)
  - ・各種競技団体や中学生・高校生の競技力向上に対する支援(拡充)
  - ・日本体育大学と連携した高校生等の競技力向上(新規)
  - ・アーバンスポーツなど多様なスポーツの振興(アーバンスポーツ競技団体の組織化に向けた連絡会議の開催、体験イベントの開催(eスポーツ体験会)など)(拡充)
  - ・石川ユナイテッドとの包括連携協定に基づくトップスポーツチームとの更なる連携強化(新規)
  - ・「石川県スポーツ大使」の委嘱(新規)
  - ・東京オリパラのレガシー活用によるスポーツ振興(新規)
- など



## 施策3 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化

### ● 多彩な文化資源を最大限に活用した「文化観光」の推進

- ・高付加価値な文化観光コンテンツの発掘・磨き上げ
- ・「文化の担い手」と「観光事業者」の人材育成・連携推進
- ・本県の有する質の高い文化資源の魅力発信 など

### ● ターゲットに応じた戦略的な誘客の推進

- ・旅行ニーズの多様化に対応した観光魅力の発信
- ・三大都市圏での誘客プロモーション
- ・アニメなどを活用した賑わいの創出 など

### ● インバウンドにおける高付加価値旅行者の誘客強化

- ・観光消費拡大を図るための高付加価値旅行者誘致の強化 など

### ● 新幹線北陸開業の効果を活かした誘客キャンペーンの実施

- ・北陸三県連携による誘客の促進 など

### ● 基幹産業としての石川の観光を担う人材の育成

- ・旅行ニーズの多様化など社会環境の変化に対応できる観光人材の育成 など

### ● 観光資源を活かした県土の魅力向上

- ・サイクルツーリズムの推進など魅力ある石川の景観の保全・創出及び魅力発信 など

### ● データを活用した効果的な観光施策の推進

- ・ビッグデータなどを活用した戦略的な観光施策の立案・実施・効果検証 など

〈R5当初予算〉

- ・いしかわ文化観光推進ファンドによるコンテンツの発掘・磨き上げ販売促進までの一貫支援(新規)
- ・いしかわ文化観光スペシャルガイドの創設(新規)
- ・いしかわ観光創造塾における文化観光推進人材の育成(拡大)
- ・県・金沢市の連携による兼六園周辺文化施設の共通デジタルパスポートの導入(新規)
- ・最先端の映像技術を活用した文化資源の魅力発信(拡充)
- ・明治・大正レトロ文化発信拠点の開設(四高記念文化交流館)(新規)
- ・関西での情報発信拠点の整備(新規)
- ・アニメコンテンツを活用した賑わいの創出(新規)(再掲)
- ・インバウンドにおける高付加価値旅行者の誘客
- ・MICEの誘致
- ・三県連携による北陸デスティネーションキャンペーンに向けた「全国宣伝販売促進会議」の開催(新規)
- ・いしかわ里山里海サイクリングルートの魅力向上・発信(拡充)
- ・ビッグデータを活用したデジタルマーケティングによる観光情報の発信(新規) など

## 施策4 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤のさらなる充実

- 北陸新幹線の早期全線整備
  - ・大阪までの早期全線整備に向けた働きかけの強化 など
- 幹線道路ネットワークの強化
  - ・細長い県土の更なる一体化・高速化の促進、北陸新幹線でつながる北陸三県や岐阜県を結ぶ県際道路の強化 など
- 安心して快適に移動できる公共交通の実現
  - ・交通DX・GXの推進
  - ・持続可能な地域公共交通の維持・確保・充実 など
- 港湾機能の充実による交流促進
  - ・金沢港・七尾港における取扱貨物や航路拡大、国際物流拠点化、賑わいの創出 など
- 小松空港の日本海セントラルゲートウェイ化
  - ・世界と日本各地をつなぐ日本海セントラルゲートウェイとして小松空港の機能拡充 など
- のと里山空港の交流拠点としてのさらなる活性化
  - ・人との交流拠点としての、のと里山空港のさらなる活性化 など

〈R5当初予算〉

- ・広域交流ネットワーク道路の整備
  - のと里山海道4車線化(上棚矢駄IC～徳田大津JCT)(新規)、加賀海浜産業道路(城南～村松)(新規)、金沢外環状道路海側幹線(大河端～福久)
- ・IR・のと鉄道の利用促進
- ・港湾計画改訂を見据えた金沢港の将来ビジョンの策定(新規)
- ・小松空港中期ビジョンの策定、新規路線の誘致(定期路線開拓)
- ・のと里山空港における脱炭素化推進計画の策定(新規) など

## 施策5 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進

- 一人ひとりのニーズに寄り添ったきめ細かな支援による石川への移住・定住の促進
  - ・様々な切り口・手法による本県での暮らしの魅力発信
  - ・移住希望者の受け入れ体制の整備 など
- 多様な暮らし方・働き方への志向の高まりを捉えた新たな人の流れの創出
  - ・テレワーク移住の推進といった場所に捉われない働き方・暮らし方の実現など新たなニーズへの対応 など

〈R5当初予算〉

- ・本県での充実した子育て環境や移住支援金をはじめとした手厚いサポート制度などのPR強化(新規)
- ・多彩な移住体験プログラムを通じた地域との関係性構築の支援(新規)
- ・クリエイティブ人材の移住促進(新規)(再掲) など

## 施策6 個性豊かな地域づくり

- 金沢城公園の整備
  - ・二の丸御殿の復元（R6年度工事着手）など金沢城公園の整備
- 西部緑地公園の再整備
  - ・産業展示館や県立野球場の建替えと併せた西部緑地公園の再整備
- 森林公園の魅力向上
  - ・石川県森林公園におけるリニューアル・魅力発信 など
- 多様な人々が交流し、役割を持ち活躍できる地域づくり
  - ・地域づくり活動のリーダーとなる人材の育成
  - ・外部人材の受け入れ促進と地域住民と協働した地域づくり など

- 地域が有する多彩な地域資源の活用による魅力の創出・継承
  - ・地域の個性を活かした地域活性化と魅力の創出・継承 など
- 地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまちづくり
  - ・持続可能でにぎわいのある集約型まちづくりの推進
  - ・緑と水の空間の創造と利活用の充実 など

〈R5当初予算〉

- ・金沢城二の丸御殿の復元整備
- ・西部緑地公園の再整備
- ・森林公園の再整備
- ・知事公舎の利活用の検討（新規）（再掲）
- ・地域おこし協力隊の受入促進  
（移住希望者や青年海外協力隊OB・OGなどに対するPR）
- ・無電柱化を核とした街なみ景観形成（南通り線(羽咋市)(新規)) など

## 施策7 世界に開かれた国際交流の推進

- 世界の各地域との多様な国際交流・国際協力の推進
  - ・友好交流地域など世界各地とのネットワークや石川の特徴を活かした多様な交流 など
- 民間国際交流団体の充実と国際社会に通用する人材育成
  - ・民間国際交流団体の活動内容の充実と行政との連携・協働体制づくり
  - ・国際社会に通用する人材の育成と県民の国際理解の促進 など
- 文化安全保障の理念に基づく取組の推進
  - ・国際規模のイベントなどの機会を捉えた文化を通じた国際交流
  - ・地域に根付いた文化の保存・継承・発展など文化安全保障の取組 など

〈R5当初予算〉

- ・ホームステイボランティア拡充に向けた交流会の開催（新規）
- ・国際MICEの誘致 など

## 戦略4 石川の未来を切り拓く人づくり

### 施策1 次世代を担う人材の育成

- **いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成**
  - ・ふるさと石川に対する誇りと愛着の醸成
  - ・地域の活性化に貢献できる人材・グローバル人材の育成 など
- **学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成**
  - ・確かな学力の育成
  - ・G I G Aスクール構想の実現による学びの質の向上
  - ・キャリア教育・職業教育の充実
  - ・特別支援教育の充実 など
- **豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくり**
  - ・道徳・人権教育の推進
  - ・いじめ・不登校などへの取組の充実 など
- **信頼される質の高い学校づくり**
  - ・教員のキャリアステージに応じた「いしかわ型教員研修体制」の充実
  - ・多様なニーズに応える学校づくりの推進
  - ・教職員の多忙化改善の推進 など
- **いしかわ師範塾における即戦力となる教員の養成・確保**
  - ・教員を目指す学生などへの実践的な研修の充実 など
- **建学の精神を尊重した私学の振興**
  - ・私立学校の自主性を活かした、教育環境の維持や特色ある学校づくりへの支援
  - ・私立学校における修学上の経済的負担軽減のための支援 など

#### 〈R5当初予算〉

- ・地域の特色を活かしたふるさと教育(地域の教育資源やふるさとの偉人など)の推進(新規)
- ・ものづくり高校の魅力発信の強化(新規)
- ・県立高校におけるSTEAM教育の推進(新規)
- ・小学校における35人学級の前倒し実施
- ・いしかわ特別支援学校知的障害教育部門高等部新校舎の建設(R7年4月開校予定)などによるインクルーシブ教育の推進
- ・特別支援学校における農業分野への就労促進(農業法人及び農業高校との連携など)
- ・県立夜間中学の開校(R7年4月予定)に向けた準備(夜間中学開設準備室の設置)(新規、組織改正)
- ・公立中学校における休日の部活動の地域移行に向けた体制構築・実証
- ・児童生徒への相談体制の充実(スクールソーシャルワーカーの増員)(拡充) など

## 施策2 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展

- 高等教育機関の多様な「学び」の推進
  - ・「大学コンソーシアム石川」を核とした、産学官金連携による「学び」の充実
  - ・国際的な学術交流と人材育成の促進 など
- 高等教育機関の知を活かした地域の魅力向上
  - ・地域と高等教育機関や企業との連携 など

〈R5当初予算〉

- ・県内高等教育機関に在籍する学生の県内定着促進(高等教育機関との学生県内定着推進協定の締結など)(新規)(再掲)
- ・いしかわシティカレッジによる学生の履修機会の拡大や県民に対する生涯学習機会の提供

など

## 施策3 人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備

- 生涯にわたり学び続ける環境づくり
  - ・生涯にわたる学習の推進
  - ・社会教育の奨励・振興 など
- 家庭や地域の教育力の向上
  - ・学校・家庭・地域が一体となって取り組む体制づくり など
- 文化・交流機会の提供
  - ・知の殿堂としての県立図書館の運営 など

〈R5当初予算〉

- ・県民大学校による県民の生涯学習機会の提供
- ・県立図書館における文化・交流の機会の提供(再掲)

など

## 戦略5 温もりのある社会づくり

### 施策1 安心して子どもを産み育てることができる環境の充実

- 結婚を希望する若者の希望をかなえ、安心して家庭を築くための支援の充実
  - ・結婚を希望する若者に対する出会いの機会の提供
  - ・結婚にかかる経済的負担の軽減 など
- 安心して子どもを産み育てるための母子の健康の確保及び増進
  - ・母子の健康確保のため市町などと連携した切れ目のない支援
  - ・産科医の養成と確保 など
- 全ての子育て家庭が安心して子どもを育てることができる環境の整備
  - ・子育てに関する負担の軽減・子育て世代への経済的支援
  - ・社会的支援の必要性が高い子ども・家庭への支援
  - ・幼児教育・保育サービスの充実
  - ・子どもの自立に必要な力を育む教育の充実と環境整備 など
- 仕事と家庭の調和(ワークライフバランス)の推進
  - ・企業におけるワークライフバランスの取組の推進
  - ・県民のワークライフバランス実現に向けた普及啓発・取組支援 など

#### <R5当初予算>

- ・婚パス制度の拡充(利用期間:2年→4年)(拡大)
- ・「あいきゅん」(マッチングシステム、縁結びistによるお見合い、婚活イベント)による出会いの機会の拡充
- ・里帰り出産を含めた県内全ての妊婦を支援する「いしかわ妊娠・出産サポートセンター(仮称)」の設置(新規)
- ・若手産科医を養成する循環型サイクルの構築に向けた体制整備への支援(新規)
- ・市町の子育て支援施策の充実に向けた乳幼児医療費助成制度の拡充(拡大)
- ・子ども食堂への支援(新規)
- ・ヤングケアラーの支援体制のさらなる強化、家族を公的サービスに確実につなぐための保護者カウンセラーの配置(新規)
- ・SNSを活用したヤングケアラー経験者との相談体制の整備(新規)
- ・障害児を受け入れる保育施設に対する県独自の保育士加配への助成(新規)
- ・東京大学と連携した県独自の0~2歳児の集団教育のガイドラインの作成(新規)
- ・奥能登地区の保育士確保のための国修学資金への上乗せ給付(5万円→10万円)(新規)
- ・男性の育児取得促進に向けた育休取得マニュアルの作成、アドバイザー派遣(新規)
- ・家事アウトソーシングの普及啓発(新規)

など

## 施策2 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり

- 生涯を通じた健康づくり、生きがいづくりの推進

- ・県民一人ひとりの生涯を通じた健康づくりの推進
- ・高齢者が生きがいを持って積極的に社会参加できる環境の整備 など

- 介護・福祉サービスを支える人材の確保・質の向上

- ・外国人介護人材を受け入れる事業者への支援
- ・介護・福祉サービスを支える人材の参入促進、定着促進 など

- 地域包括ケアシステムの構築

- ・孤立防止等のための地域での見守り体制の充実
- ・在宅高齢者などを支える医療・介護連携体制の構築 など

- 認知症施策の推進

- ・認知症の早期診断の促進
- ・医療・介護サービスの連携体制の整備 など

- 高齢者にとって安全で安心な地域社会づくりの推進

- ・高齢者の虐待防止 など

〈R5当初予算〉

- ・がん治療による外見の変化(アピアランス)への医療・美容連携による支援体制の構築(研修会・連絡会の開催)(新規)、ウィッグ等の購入助成(新規)
- ・外国人の雇用を検討する介護事業者向けのセミナー・個別相談会の開催(新規)
- ・民生委員の確保に向けた働きかけ強化(企業の退職者等への周知、働きながら活動する民生委員の事例調査・分析と普及)(新規)
- ・eスポーツによる認知症予防の推進に向けた、体験会のモデル開催(新規)

など

### 施策3 全ての県民への必要な医療の提供

- 地域医療の確保に向けた医療従事者の確保・資質の向上
  - ・医師及び看護師の確保及び資質向上の推進 など
- 地域における周産期医療の確保
  - ・産科医不足地域の体制強化 など
- 地域の医療機関相互の機能分担・連携強化
  - ・疾病、医療の分野ごとの、地域の実情に応じた医療提供体制の強化
  - ・ICTを活用した診療情報の共有化の推進 など
- 在宅医療の充実
  - ・在宅医療を支える人材の養成と資質の向上 など
- 感染症対策の推進
  - ・平時からの対応体制の整備・充実
  - ・感染症の特性に応じた相談・検査体制の充実 など
- 自殺対策・ひきこもり対策などこころの健康づくり
  - ・関係機関との連携によるこころの病気の早期発見・早期治療の促進 など

#### 〈R5当初予算〉

- ・大学病院と連携した能登地域の病院薬剤師の確保のための人材育成プログラムの創設(新規)
- ・母体の救急搬送時の安全性向上に向けた遠隔分娩監視システムの導入支援(新規)
- ・若手産科医を養成する循環型サイクルの構築に向けた体制整備への支援(新規)(再掲)
- ・看護大学における認定看護師(皮膚・排泄ケア)教育課程の開講(R6)に向けた準備(新規) など



## 施策4 誰もが心豊かに安心して暮らせるインクルーシブな社会づくり

- 差別や偏見のない心豊かな社会づくりの推進
  - ・多様性を認め合う社会に向けた人権問題への取組の推進 など
- 障害のある人もない人も共に暮らしやすい地域づくりの推進
  - ・障害のある人に対する理解の促進、障害のある人の自立と社会参加の促進 など
- 外国人と日本人がともに生き生きと安心して暮らせる社会づくりの推進
  - ・地域における日本語教育体制の整備
  - ・多文化共生の理解促進と外国人住民の社会参画支援 など
- 新たな社会福祉会館の整備

### 〈R5当初予算〉

- ・いしかわ特別支援学校高等部新校舎の建設(R7開校)などによるインクルーシブ教育の推進(再掲)
- ・パートナーシップ宣言(県営住宅など)
- ・障害者の文化芸術作品の県庁舎や民間施設での展示・魅力の発信(新規)
- ・オンライン日本語教育の実施、市町の多文化交流事業への支援、外国人住民のニーズ調査の実施(新規)
- ・新たな社会福祉会館の在り方の検討(新規)  
(在り方検討委員会(仮称)の設置) など

## 施策5 男女が共に活躍できる社会の実現

- あらゆる分野における女性の活躍推進
  - ・企業などにおける女性活躍に向けた気運の醸成
  - ・意思決定過程への女性参画の積極的な支援 など
- 安全・安心な暮らしの実現
  - ・女性などに対するあらゆる暴力の根絶
  - ・性犯罪・性暴力への対策の推進 など
- 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革と体制の充実
  - ・男女共同参画の理解促進に向けた広報・啓発活動 など

### 〈R5当初予算〉

- ・県内企業の成長に向けた女性の更なる活躍の推進(拡充)
- ・女性の多様な働き方への支援(新規)(再掲)
- ・家事アウトソーシングの普及啓発(新規)(再掲)
- ・困難な問題を抱える女性への支援に関する計画の策定(新規) など

# 戦略6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

## 施策1 災害に負けない強靱な県土づくり

### ● 防災・減災対策の充実強化

- ・気候変動の影響を踏まえた流域治水の推進
- ・災害時における交通機能の確保
- ・土砂災害対策の推進
- ・海岸保全対策の推進

など

### ● 災害に強いまちづくり

- ・ライフラインである上水道や下水道の耐震化
- ・公共建築物などの耐震化
- ・防災拠点となる都市公園の整備など市街地防災力の向上

など

### ● 災害対応力の基盤強化と自助・共助による地域防災力の向上

- ・災害予防対策の充実強化
- ・自衛隊や海上保安庁などの実動機関との連携強化
- ・消防力の充実強化
- ・多様な主体の連携による自助力・共助力の向上
- ・災害ボランティアの活動環境の充実

など

〈R5当初予算〉

- ・R4年8月の豪雨災害を踏まえた流域治水の本格的な実践
- ・倒木による停電への対策(立木の事前伐採)
- ・県水送水管の耐震化(2系統化)
- ・消防学校を核とした総合的な防災拠点整備基本構想策定(新規)
- ・地震被害想定の見直し(新規)
- ・自主防災組織のトップリーダーである町会長等を対象とした研修の実施(新規)
- ・大学と連携した防災人材の育成(新規)
- ・防災DXによる災害対応力の強化(新規)

など

## 施策2 安心して快適に暮らせる地域づくり

### ● 持続可能なインフラ基盤の確保

- ・道路施設の長寿命化対策などインフラ基盤の適正な維持管理
- ・施工、点検などへのデジタル技術の積極的な活用
- ・道路設備の省電力化など脱炭素化への取組 など

### ● 快適に暮らせるまちづくり

- ・地域の暮らしを支える道路交通基盤の構築
- ・多数の方が利用する建築物のバリアフリー化など人にやさしい住まいづくり
- ・安全で円滑な冬期交通の確保 など

### ● 県民総ぐるみによる交通安全活動の推進

- ・交通安全教育など交通安全意識の醸成
- ・高齢者や自転車など様々な運転者を対象としたきめ細かな安全運転の確保
- ・飲酒運転の取締りなど道路交通秩序の維持 など

### ● 犯罪のないまちづくりの推進

- ・特殊詐欺被害防止対策など防犯活動を通じた安全・安心まちづくりの推進
- ・子ども・女性・高齢者を守る取組の推進
- ・サイバー空間の脅威への的確な対処 など

### ● 消費者の相談支援

- ・消費者生活相談体制
- ・消費者教育の充実 など

### ● 食の安全・安心の確保

- ・生産から消費に至るまでの食の安全・安心の確保、食品などの表示の適正化 など

#### 〈R5当初予算〉

- ・SNSを活用した道路の適切な維持管理(新規)
- ・土木インフラ施設における再生可能エネルギーの導入可能性調査(新規)
- ・GPSを活用した除雪業務の効率化、見える化(新規)
- ・タブレット端末を活用したオンライン交通安全教育の実施(新規)
- ・石川県飲酒運転の根絶に関する条例の制定(新規)
- ・特殊詐欺被害防止対策の推進(拡充)
- ・サイバー犯罪に対する捜査などの推進(拡充)
- ・企業・医療機関をはじめとする事業者等との官民連携の合同対処訓練の実施(新規)

など

## 施策3 持続可能な循環型社会づくり

- **カーボンニュートラルに向けたあらゆる主体による実践（2050年カーボンニュートラルの実現）**
  - ・温室効果ガスの排出割合が高い家庭部門や運輸部門における取組充実 など
- **再生可能エネルギーのさらなる導入拡大**
  - ・温室効果ガスの排出削減・吸収に向けた取組の徹底
  - ・地域特性を活かした再生可能エネルギーのさらなる導入拡大 など
- **3Rの推進による循環型社会の形成**
  - ・廃棄物のさらなる排出抑制の推進
  - ・循環資源の再使用、再生利用、熱回収など有効利用の促進
  - ・廃棄物の適正な処分の推進 など
- **豊かな水資源や良好な環境の将来世代への継承**
  - ・良好な大気環境の保全対策
  - ・騒音・振動・悪臭の防止
  - ・水環境の保全と適正な利活用
  - ・土壌汚染の未然防止 など

### 〈R5当初予算〉

- ・省エネ家電購入者に省エネ性能に応じたキャッシュレスポイントを交付(新規)
- ・ZEH化、エネルギー消費量の見える化など「いしかわエコハウス」の機能強化(拡充)
- ・住宅用充電設備設置や、電気自動車等の購入支援(拡充)
- ・事業者向け脱炭素化総合サポート窓口の設置(いしかわエコハウス)、ニーズに応じたセミナーの開催(新規)
- ・業界団体などによる廃プラスチックリサイクルに向けた支援(拡充)
- ・楽しみながら清掃活動を行う「ごみ拾い・GPSアートコンテスト」の開催(拡充) など

## 施策4 自然と人との共生できる社会づくり

- **持続可能な自然環境の構築**
  - ・トキと人との共生に向けた取組の推進
  - ・生物多様性の保全 など
- **県民理解と利用促進を通じた自然公園の保護と利用の好循環の形成**
  - ・自然公園の適切な保護・管理、利用の促進
  - ・さらなる魅力向上や情報発信 など
- **種の保存と適切な野生鳥獣の保護管理**
  - ・希少野生動植物などの保全対策
  - ・外来種対策の推進
  - ・野生鳥獣の適切な保護と管理による被害の減少 など

- **人と動物が共生することができる社会の実現**
  - ・「殺処分ゼロ」を目指した取り組み（ボランティアの育成、譲渡会の開催など）の推進 など

### 〈R5当初予算〉

- ・トキと人との共生に向けた生息環境や社会環境の整備促進、トキとの共生を活かした地域活性化の推進(拡充)
- ・生物多様性戦略ビジョンの改定(新規)
- ・白山の魅力向上・情報発信の強化(新規)
- ・新規狩猟者の確保と定着に向けた狩猟ブースの出展、狩猟仲間との交流の場の提供(拡充)
- ・いしかわ動物愛護センターの整備(R6春開所) など

# 横断的戦略 1 デジタル化の推進

## ● 社会全体のDXの推進

### 〈暮らしのDXの推進〉

- ・必要な人に、必要なときに、医療や交通などの必要なサービスが提供される便利で安心な社会の推進

### 〈産業のDXの推進〉

- ・県内企業への人材、資金、技術面での総合的な支援によるDX化の推進

## ● 行政のDXの推進

### 〈行政サービスの向上〉

- ・行政のデジタル化による、県民が、迅速かつ簡単に行政サービスを受けられることができる社会の推進

### 〈業務改革の推進〉

- ・行政事務の効率化、効果的な行政運営を図り、県民一人ひとりにきめ細かな行政サービスの提供

## ● DXに向けた環境整備

### 〈デジタル基盤の整備〉

- ・県民一人ひとりが必要な時にデジタルでサービスを受けられる環境の整備

### 〈市町支援、地域間連携〉

- ・行政のDXに取り組む市町への支援
- ・市町との連携による生活の向上

### 〈誰一人取り残さないための取組〉

- ・誰もがDXの恩恵を広く受けられる環境の整備

### 〈R5当初予算〉

- ・母体の救急搬送時の安全性向上に向けた遠隔分娩監視システムの導入支援(新規)(再掲)
- ・防災DXによる災害対応力の強化(新規)(再掲)
- ・GPSを活用した除雪業務の効率化、見える化(新規)(再掲)
- ・県・金沢市の連携による兼六園周辺文化施設の共通デジタルパスポートの導入(新規)(再掲)
- ・最先端の映像技術を活用した文化資源の魅力発信(拡充)(再掲)
- ・ビックデータを活用したデジタルマーケティングによる観光情報の発信(新規)
- ・GIGAスクール構想の推進
- ・スマートエスイーの拡充(CDO育成講座、ローコード講座)(拡充)(再掲)
- ・リスキリングの推進に向けた県内大学との連携(新規)(再掲)
- ・工業試験場における技術支援(シミュレーション技術の活用支援、デジタルツインの研究)(新規)(再掲)
- ・DX設備の導入支援(連携枠の創設、導入に向けた可能性調査)(拡充)(再掲)
- ・行政手続のオンライン化、支払いのキャッシュレス化
- ・テレワーク環境の整備(拡充)
- ・データ連携基盤構築(新規)
- ・EBPMの手法の本格的な導入(新規)
- ・県庁におけるデジタルワークスタイルの実現
- ・市町の基幹業務システム標準化・ガバメントクラウド移行支援(新規)

など

## 横断的戦略 2 カーボンニュートラルの推進

### ● 2050年カーボンニュートラルの実現

#### 〈生活のGXの推進〉

- ・住宅の省エネ化などの推進
- ・環境配慮型の自動車の普及促進
- ・公共施設の省エネ化、再エネ導入
- ・県民の意識啓発 など

#### 〈産業のGXの推進〉

- ・新エネルギーなどの開発支援
- ・企業のグリーン化、設備投資への支援
- ・GXを推進する人材の育成
- ・資源循環の取組促進
- ・環境保全型農業の推進 など

### ● エネルギー構造の転換への対応

- ・既存施設などの省エネ化、再エネの導入促進
- ・エネルギーの自家消費・地産地消の推進
- ・物価高騰など環境変化への対応
- ・産学官連携の推進 など

#### 〈R5当初予算〉【再掲】

- ・省エネ家電購入者に省エネ性能に応じたキャッシュレスポイントを交付(新規)
- ・ZEH化、エネルギー消費量の見える化など「いしかわエコハウス」の機能強化(拡充)
- ・住宅用充電設備設置や、電気自動車等の購入支援(拡充)
- ・事業者向け脱炭素化総合サポート窓口の設置(いしかわエコハウス)、ニーズに応じたセミナーの開催(新規)
- ・成長戦略ファンド創設による先進的な取組や研究開発への支援(新規)
- ・GX設備の導入支援(拡充)
- ・県全体での環境保全型農業の推進に向けた生産対策と消費対策の実施(新規)
- ・県有林のJ-クレジット発行・販売、民有林向けマニュアルの作成(新規)
- ・金沢港・七尾港におけるカーボンニュートラルポートの推進
- ・のと里山空港における脱炭素化推進計画の策定(新規)
- ・土木インフラ施設における再生可能エネルギーの導入可能性調査(新規)
- ・「ゼロカーボンドライブプロジェクト」による水素エネルギーの普及啓発(新規)
- ・電気料金をはじめとした物価高騰対策(省エネ設備導入支援・融資、パートナーシップ構築宣言や賃上げを行う企業に対するインセンティブの付与、ゼロゼロ融資返済本格化・物価高騰に対応した特別融資など)(拡充)
- ・産学官連携(金沢工大など)による炭素繊維分野における研究開発の推進(新規) など